【第６回】豊能町地域公共交通会議　分科会

次　　第

日時：平成２５年３月１９日（火）１０時より
場所：吉川支所２Ｆ会議室

【１】交通計画検討の方向性について

【２】社会実験計画期間の延長について

【３】東西バスの乗継改善について

【４】その他

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

〇配布資料
・第６回分科会検討資料
・阪急バスダイヤ改正について
・第６回分科会出席者表（次第裏面）

豊能町地域公共交通会議　分科会名簿

H25.3.19

地域公共交通会議委員長より指名のあった委員(H23.3.4協議)	団体名等	出席者	
豊能町総務部長又はその指名する者	豊能町	総務部長	乾　晃夫
阪急バス株式会社の代表又はその指名する者	阪急バス株式会社	自動車事業部副部長兼営業計画課課長	野津　敏明
豊能町自治会長会の代表又はその指名する者	自治会	木代自治会長	向井　暉勝
大阪運輸支局の代表又はその指名する者	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局	首席運輸企画専門官	黒田　唯雄
学識経験者又はその指名する者	大阪大学大学院工学研究科	地球総合工学博士	猪井　博登
京都タクシー株式会社の代表又はその指名する者	京都タクシー株式会社	亀岡支社営業部係長	宗口　雅之助

○事務局

豊能町企画政策課	南　正好
	八木　一史
	江崎　純史

【1】交通計画検討の方向性について（案）

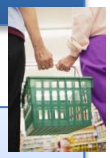
【交通計画における重点施策の設定】

【超高齢社会とまちづくりの課題】
◎坂が多く、徒歩による移動の範囲が限られる。高齢になるにつれ、これまでと同じような移動が困難になる
◎自家用車がないと、生活圏が狭まる。公共交通がない場合は、買い物や通院ができなくなる可能性がある
◎通勤利用者減により、公共交通の利用者減とサービスの低下が生じる

高齢者が住みにくいまち ☞ さらなる人口減少を招く
住民の活動機会が減る ☞まちのにぎわいがなくなる

高齢になっても、今までのように安心して生活ができるようなまちづくりが必要

「高齢者にやさしい公共交通」の実現を交通計画の重点施策として位置付ける



【期待効果】
・徒歩や自家用車の代わりとして利用できる公共交通によって、今までと同じような活動機会が保たれている

・“高齢になったら住みにくい”という町のデメリットを解消し、人口減少が食い止められている

【検討方法】

アンケートにより、高齢者にとっての移動の課題を調査して、計画に反映する

《公共交通アンケート調査》

対象 ： 高齢者
目的 ： （自家用車がない状態で）どのような移動のバリアがあるのか等、高齢者にとっての移動の課題を調査

どのような移動に対してどのような課題があるのかを検討

「高齢者にやさしい公共交通」の全体構想

- 社会実験結果
- 利用者数等の状況
- 需要にあった効率的な手段
- パブリックコメントによる参考意見の検討
- 民間公共交通の活用
- 豊能西線補助のあり方

構想の具体化

具体策の決定

【2】社会実験計画期間の延長について（案）

【当初】

《計画内容》
巡回バス見直しによる社会実験運行

《交通計画の考え方》
地域全体の公共交通について交通計画としてとりまとめる

【H23.12変更】

《変更内容》
阪急バス西地区路線再編による社会実験内容変更と豊能西線運行補助の開始

《交通計画の考え方》
地域全体の交通計画を策定し、豊能西線運行補助については、西地区交通の確保維持施策として計画に記載する

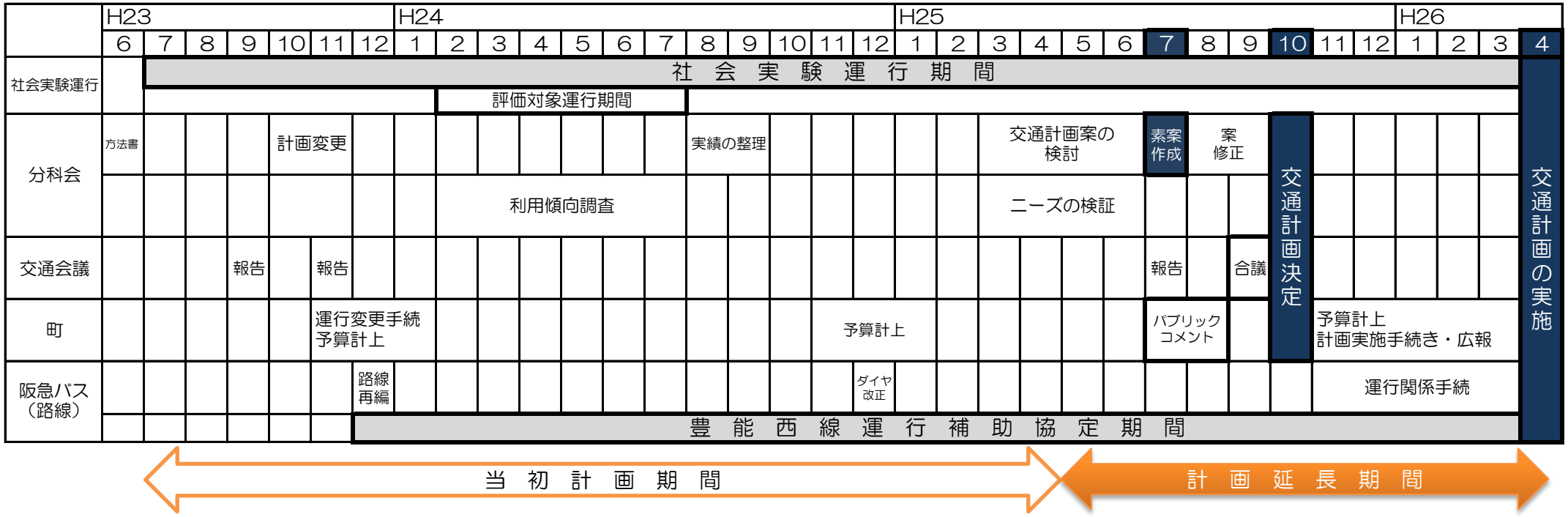
【変更案】

《変更内容》
社会実験の延長と社会実験内容の改善

《交通計画の考え方》
「高齢者にやさしい公共交通」の実現を重点施策として地域全体の構想を策定。西地区については豊能西線運行補助のあり方も含め、移動手段について再検討したものを計画に記載

⇒社会実験終了を豊能西線運行補助協定期間の終了時期に合わせる

《計画延長案（最短で実施する場合）》



【３】東西バスの乗継改善について（案）

平成 24 年 7 月 2 日の箕面森町線ダイヤ改正により、箕面森町地区センターにおける東西バス（平日第 3/4 便）の接続が次のとおりとなった

阪急バス豊能営業所前		8:20		
余野（中央公民館前）		8:29		
箕面森町地区センター	千里中央から 8:40着 →	8:43	→	千里中央へ 9:00発
支所前		8:50		
ときわ台駅	川西能勢口から 8:45着 →	8:53	→	川西能勢口へ 9:03発
支所前		8:58		
箕面森町地区センター	千里中央から 8:50着 →	9:03	→	千里中央へ 9:30発
余野（中央公民館前）		9:21		
阪急バス豊能営業所前		9:28		

1 本前の便（8:40 発）と停留所付近ですれ違い

到着直前に 1 本前の便（8:52 発）が発車

乗継時間が拡大

・ＯＤ調査の際、この便は 8:43 より早く箕面森町地区センターに到着し、箕面森町線 8:40 発の便とバス停付近ですれ違う状況であった

・ときわ台駅に 8:53 に到着するが、到着寸前に能勢電鉄がときわ台駅を発車（8:52 発）するのが見えている

・この便は、東西バスの中で最も利用が多い便である（平成 25 年 1 月は平日 1 便平均約 3.5 人のところ、平日第 3 便は 6.6 人）

社会実験の延長により、運行が当面の間継続となることから、この便のダイヤを下記のとおり変更し、利用者の利便性向上を図る

【東西バスダイヤ改正案】

阪急バス豊能営業所前		8:11		
余野（中央公民館前）		8:20		
箕面森町地区センター	千里中央から 8:30着 →	8:34	→	千里中央へ 8:40発
支所前		8:41		
ときわ台駅	川西能勢口から 8:34着 →	8:44	→	川西能勢口へ 8:52発
支所前		8:49		
箕面森町地区センター	千里中央から 8:50着 →	8:54	→	千里中央へ 9:00発
余野（中央公民館前）		9:12		
阪急バス豊能営業所前		9:19		

出発時刻を９分早くする（東地区デマンドとの接続は保持する）

1 本前の便に接続

1 本前の便に接続

1 本前の便に接続

1 本前の便に接続

H24.12.10 阪急バスダイヤ改正について

○　平成 24 年 12 月 10 日に能勢営業所が閉鎖

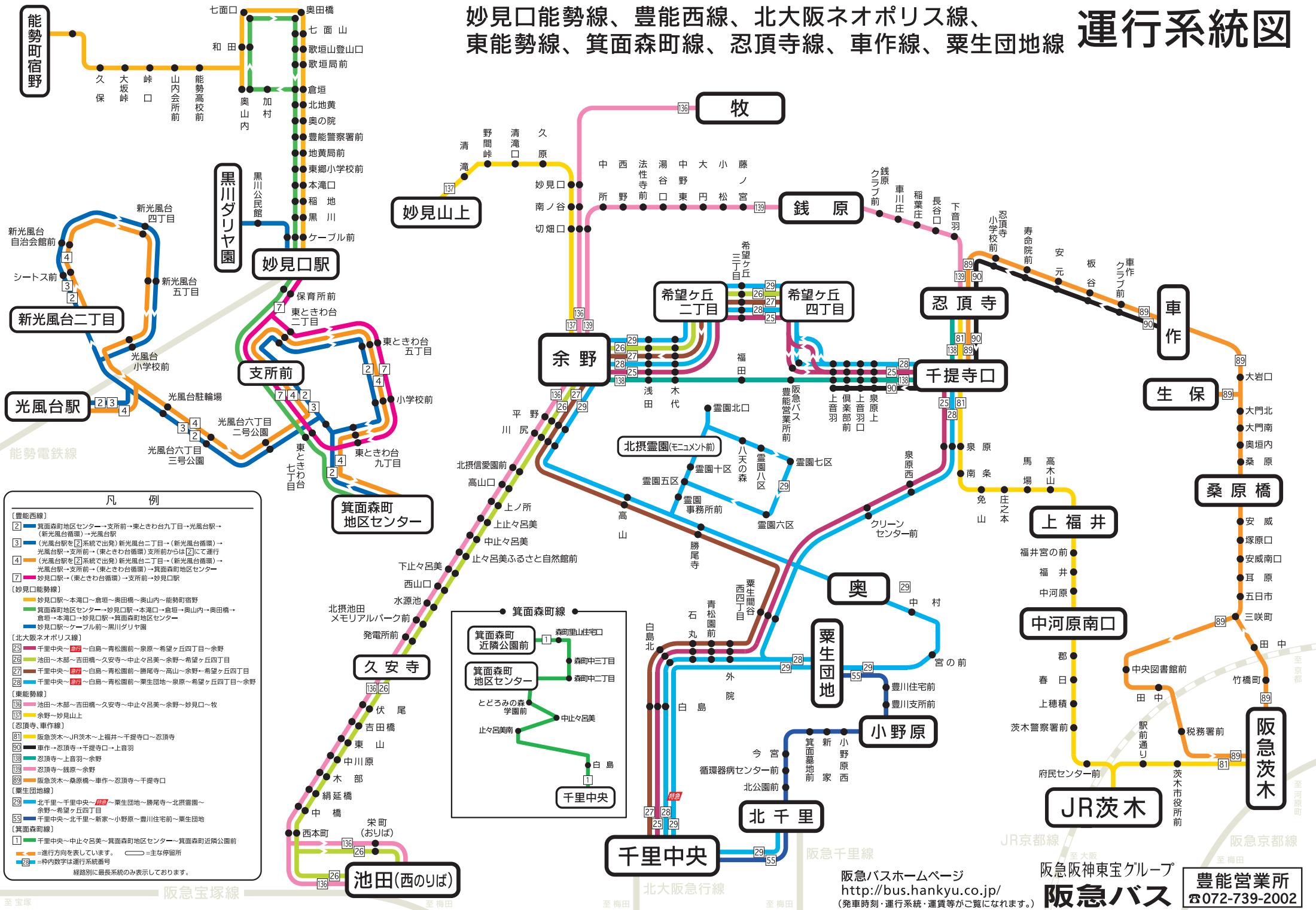
○　妙見口能勢線のうち、2 本は支所前経由箕面森町地区センター行きに（森町営業所までの回送運転を実走に）

経路：奥田橋～妙見口～支所前～東ときわ台７丁目～箕面森町地区センター

○　豊能西線の箕面森町地区センター及び東ときわ台７丁目の発車時刻が変更（2 分早くなる）

⇒千里中央からの乗り継ぎ時間が 2 分短縮となる

妙見口能勢線、豊能西線、北大阪ネオポリス線、東能勢線、箕面森町線、忍頂寺線、車作線、粟生団地線 運行系統図



阪急バスホームページ
http://bus.hankyu.co.jp/
(発車時刻・運行系統・運賃等がご覧になれます。)

阪急阪神東宝グループ
阪急バス

豊能営業所
☎072-739-2002